

あさひむら としよかん新聞

村立朝日村図書館発行
2022年7月1日
(第16号)
7月



「協働電子図書館」

8月5日から「市町村と県による協働電子図書館」がスタートします。協働電子図書館とはどういったものなのでしょうか。

協働電子図書館は、すべての長野県民が、電子書籍(コンテンツ)を無料で借りられるよう、長野県内の公共図書館や公民館図書室が県と協力して運用する図書館です。長野県民は、だれでも、いつでもどこからでも、お手持ちのパソコン、スマホ、タブレットで簡単に本の貸出と返却ができます。文字を読みやすい大きさに変えることができ、ページも、タップ(クリック)一つで簡単にめくれます。365日、24時間お休みはありませんので、仕事や子育て、介護などで開館時間中に来館できない方、体の不自由な方、図書館が遠方の方

も好きな時に読書が楽しめるという特徴があります。

電子図書館を利用するには登録が必要です。

朝日村に住所のある方は、朝日村

図書館で「電子図書館利用申込書」に記入

してください。IDとパスワードを発行し

ます。登録には身分証明書(運転免許証、

マイナンバーカード、保険証などいずれか)

と朝日村図書館の貸出カードが必要です。

登録の際はご持参ください。また、朝日村

図書館の貸出カードを作ったことがない方

は、貸出カード作成後、電子図書館利用

申込書を記入することでIDとパスワー

ドを発行いたします。

詳しくは、朝日村図書館へお尋ねくださ

い。

村立朝日村図書館 電話 (09)1007

「絵本から児童書へ」

～絵本から児童書への移行期には、ぜひ幼年童話を！～

毎日読んでいた絵本。楽しいのだけれど、もう少し長いお話がいい！自分でも読んでみたい！と、子どもの成長とともに、絵本ではもの足りなくなってくる時期があります。しかしまだ、文字ばかりの児童書は少し難しく、読む本に困るのもこの時期なのです。

絵本から児童書につなげる本として、幼年童話という分類があります。幼年童話は、読み聞かせにはもちろん、文字を読む楽しさと、絵から想像する楽しさの両方をバランスよく体験できると思います。

☆おすすめの幼年童話☆

絵本に近い易しい幼年童話 舟崎靖子 「もりのはいしゃさん」
文字量の少し増えた幼年童話 馬場のぼる 「たらふくまんま」
慣れてきたらシリーズで！ R・S・ガネット 「エルマーのぼうけん」

「鉢盛山登山マラソン」

図書館でも開催!?

朝日村では8月7日に登山マラソンが開催されます。その応援企画として図書館でも読んだ本の冊数で登山マラソンをするイベントを開催中です。合計25冊貸出で頂上へ。折返して、合計41冊以上の貸出でゴールです。1番早くゴールできるのは誰でしょうか!?

1位、2位、3位になった方には表彰状と副賞を差し上げますので、ぜひ参加してくださいね。鉢盛山登山マラソンをみんなで盛り上げていきましょう。



「伝えていきたい暮らしの知恵」
監修:おばあちゃんの知恵袋協会
出版:学研プラス



「すごい家事」
著:松橋周太呂
出版:ワニブックス



「すごすぎる天気の図鑑」
著:荒木健太郎
出版:KADOKAWA

7月は気温上昇!台風接近!こんな不快感の強い季節も読んで突破!...できるかもしれない本をご紹介します!



「あついあつい」
作:垂石真子
出版:福音館書店



「おこだでませんように」
作:くすのきしげのり
絵:石井聖岳
出版:小学館



「花火の図鑑」
作・写真:泉谷玄
出版:ポプラ社

「:あさ おきてみると ザガズーが おおきな はげたかの あかんぼうに かわっていました。あおそろしい キイキイごえて なきます。」

大人は子育てする苦労を言葉で表現できませんが、子どもは育つ苦労を言葉にできないかわりに、感情や行動で表現します。そんな姿を愉快に描いた一冊です。

「この子育ての先には、いったい何があるのでしょうか?」



「ザガズー じんせいって びっくりつづき」
作:AEI・ブレイク
訳:谷川俊太郎
出版社:好望社

めぐりめぐって